



ちばの学童保育

2018年1月28日 発行 第112号

発行者 千葉県学童保育連絡協議会
船橋市本町3-4-3 千葉保育センター内
Tel: 047-424-8102 Fax: 050-3730-6088
E-mail: chibagakudo@nifty.com

■■ 第37回千葉県学童保育指導員学校 ■■

2017年12月3日(日)に船橋市中央公民館(全体会、分科会)・船橋市勤労市民センター(分科会)で約230名の参加で行いました。

全体会は安井飛鳥氏(元指導員、現在は弁護士、社会福祉士、精神保健福祉士、千葉市児童相談所法務担当、特定非営利活動法人子どもセンター「帆希」理事)による「子どもの人権を考える～子どもの笑顔のために～」と題して、子どもの貧困と虐待の現実と共に私達指導員に何ができるのか、何をしなくてはいけないかとのお話がありました。

分科会は2カ所に分かれて行いました。

第1講座「学童保育の現場での防災について～東日本大震災から学ぶ学童保育の役割～」

(習志野市指導員 大石美恵氏)

第2講座「子どもの発達の仕組みを学ぶ」 (市川こころの相談室代表 田中真樹子氏)

第3講座「気になる子への対応」 (千葉市養護教育センター 清水範子氏)

第4講座「遊ぼうよ！～こどもともっと仲良くなろう～」

(遊び創造集団「たのしーのひ」安藤耕司氏)

第5講座「工作」 (遊び塾「はらっぱ」荒牧光子氏)

第6講座「指導員の仕事」 (千葉市指導員 井上隼人氏)

第7講座「地域交流」 (世話人:県連協常任幹事)

以上の講座を行いました。

受講された皆様の日々の保育の向上に役立つ研修となったと思います。

各地域から出ていただいた実行委員の皆様、当日お手伝いいただいた皆様、ありがとうございました。

(千葉)

■■ 第40回千葉県学童保育研究集会 ■■

2018年2月18日(日)に四街道市で開催します。詳しくはリーフレットをご覧ください。

全体会: 基調報告、記念上映 映画:「ランドセルゆれて」

第1分科会 映画「ランドセルゆれて」を見て…: 講師: 前田美子(大阪学童保育連絡会 元事務局長)

第2分科会 教育現場が変わる(新学習指導要領)～ますます忙しくなる子ども達～: 講師: 原田昭弘(小学校教諭)

第3分科会 子どもの発達にとって遊びは大切: 講師: 千葉順江(市川市指導員)

第4分科会 学童保育の施策を知ろう: 講師: 佐藤愛子(全国連協 事務局次長)

第5分科会 実技指導 けん玉: 講師: けん玉協会

多数のご参加をお待ちしています。



■■ 学童保育情勢 ■■

放課後児童クラブの来年度の予算案が示されました。「新しい経済政策パッケージ」に基づき、「放課後子ども総合プラン」に掲げる放課後児童クラブの2019年度末までの約30万人分の新たな受け皿の確保を2018年度末までに1年前倒しして実施するため、施設整備費の嵩上げを継続し、放課後児童クラブの受入児童数の拡大を図ります。

総額で2017年度予算は、725.3億円が2018年度では、799.7億円となります。

放課後児童支援員等処遇改善も引き続き行われる事と同時に放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業も実施されます。この制度は、地方公務員法で手当が支給されない行政の非常勤職員にも適用されます。方法としては、経験年数に対応した全支給額を支援員に一律の時給として賃上げが出来ます。この様な様々な手法を使っても良いと国は説明しています。各連協組織や指導員組合からもこの制度を利用して行く事を行政に働きかけましょう。

(小川)

月刊『日本の学童ほいく』を読んで、語って、いっぱい広めよう！！



みなさん、読んでいますか？

『日本の学童ほいく』は

*働きながらの子育てに役立つ雑誌です。
*指導員の実践(生活づくり)に役立つ雑誌です。

*読者である保護者・指導員が自らつくる雑誌です。

*学童保育をよりよくするための運動を進めるために役立つ雑誌です。

千葉からも編集委員として元保護者である磯村陽子さんを送り出しています。みんなの声をいっぱい届けて下さいね。

保護者会や指導員の学習会の話題に取り上げてもOK！

もちろん親子で、そしてクラブで子どもたちとも一緒に楽しめる記事満載です。

